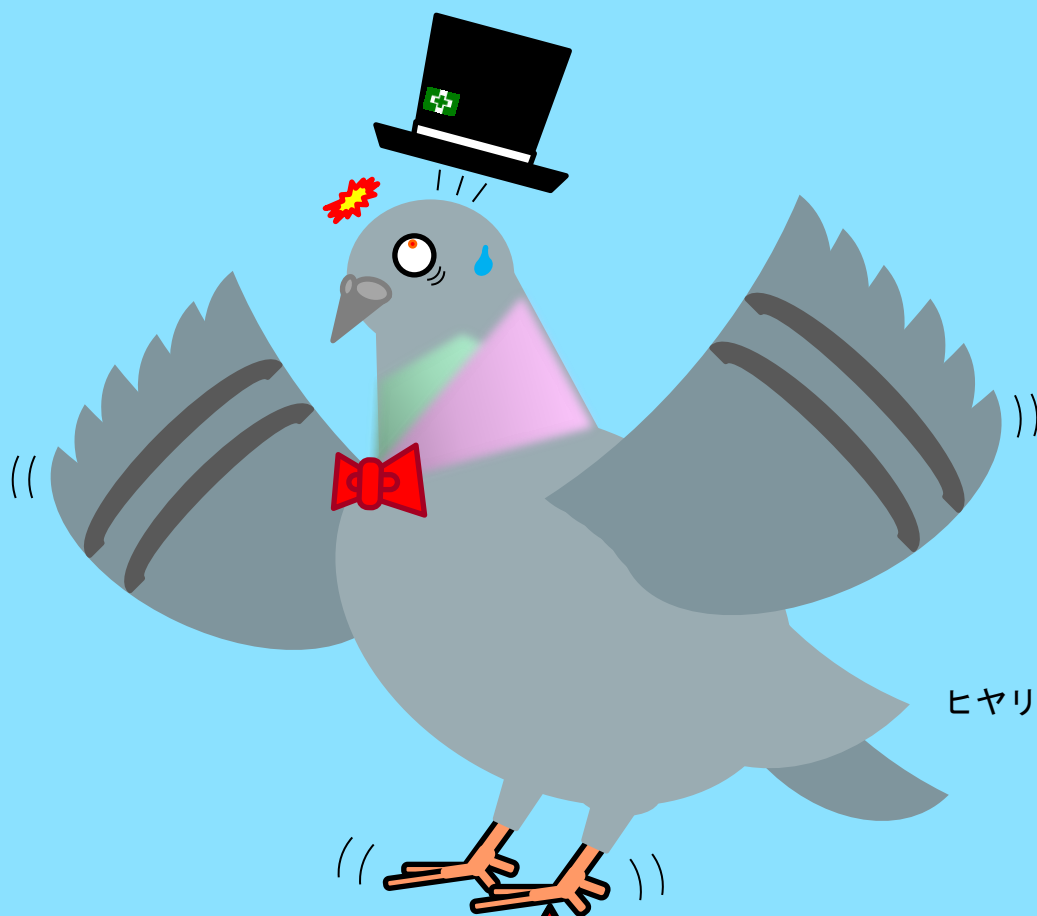


ヒヤリ・ハットで 仲間を守ろう！

ヒヤリ・ハットを放置していると、ハインリッヒの法則（下記参照）のとおり、休業災害や死亡・重篤災害の発生する可能性が高くなります。各人の体験又は気付いたヒヤリ・ハットは放置せず、報告して情報共有し、早期に対策を講じることにより、労働災害の防止、ひいては自分自身のみならず職場の仲間を守ることに繋がります。

裏面には、『ヒヤリ・ハット報告書』を載せていますので、ご活用ください。

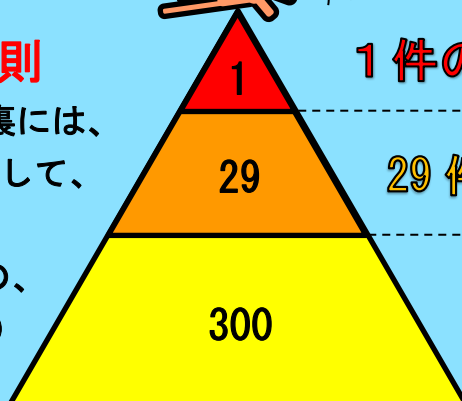
門司支署
ホームページ



ヒヤリ鳩

※ ハインリッヒの法則

1 件の大きな災害・事故の裏には、29 件の軽微な災害・事故、そして、300 件のヒヤリ・ハット（災害には至らなかったものの、ヒヤリとしたハットとした事例）があること。



1 件の重大な災害・事故

29 件の軽微な災害・事故

300 件の
ヒヤリ・ハット



ヒヤリ・ハット報告書

※ 所属や氏名など未記入でも、書ける範囲で記入し、とりあえず提出しましょう

所属：

氏名：

いつ（体験または気付いた日時）： 年 月 日 午前・午後 時 分ごろ

どこで：

何をした時（何をすると）：

どうなった（または可能性）

問題や原因（要因は最初から搾り込まず、些細なことでも思い付いたことを以下の欄に記入する）

機械や設備

作業の方法

作業の環境

心身の不調

その他要因

改善提案や要望など

管理者による処理欄（※以下の欄は管理者が記入）

担当：

機械・設備の要因

人的要因

環境、マニュアル等の要因

管理的要因

事案への対策

リスクの見積もり評価

3 重度/致命

2 中程度

1 軽度

対策

可能性

3 (高) 日常的・定期的発生

大

大

中

2 (有) まれに・非定期的発生

大

中

小

1 (低) きわめて起こりにくい

中

小

小

年 月 日
(完了・予定)